



新潟教区報 第137号  
 2024 (令和6) 年 3月15日発行

編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会  
 〒940-2402  
 新潟県長岡市与板町与板乙 4356 本願寺新潟別院内  
 TEL : 0258-72-2120  
 FAX : 0258-72-2536



## 第二十六回 平和を誓う念仏者のつどい

日時 二〇二三年(令和五年)十月二十三日(月)十三時三十分  
 会場 本願寺新潟別院 本堂  
 テーマ 「ウクライナの現状と今後の方向性」  
 講師 ムタル・サリフさん イリナ・シエフチェンコさん

第二十六回平和を誓う念仏者のつどいが右記の通り開催されました。毎年本堂で行なっているパネル展は「ウクライナの現状」をテーマにパネル展示をいたしました。(写真左下)

初めに内藤教行輪番が導師のもと、新潟教区全戦没者追悼法要が修行され、正信念仏偈作法第二種がお勤まりになりました。(写真右上)

その後の講演では、初めに二〇二二年二月に起きたロシアのウクライナ侵攻の動画を視聴し、ウクライナから新潟に避難してきた夫婦のムタル・サリフさんとイリナ・シエフチェンコさんから、ウクライナの現状や体験を講演していただきました。

(写真右下、左上)

ロシアのウクライナ侵攻によって起きた凄惨なウクライナの現状。医者を目指していたサリフさんが一旦その夢を諦めなければならぬこと。日本で報道されているウクライナの情報だけでは知りえない、ウクライナで生活されていた方の話を聴き、戦争の悲惨さを実感しました。

最後に非戦・平和へのアピール文案を読み、参加者一同に賛成いただき、全員が非戦・平和への思いを一つにしました。

現在でも、ロシアによるウクライナ侵攻は続いており、被害を受けている人は増え続けています。また、二〇二三年十月には、イスラム組織ハマスによるイスラエルへの攻撃とその報復による攻撃で双方ともに多くのいのちが失われています。そのほかにも世界各地で戦争・内戦・紛争が絶えません。今一度この現実に向き合い、非戦・平和への学びを深め、争いの無い世界の実現を目指していきたいと思えます。

## 寺院巡り

### 長岡組 西福寺

住所 長岡市渡里町三二二  
 電話 〇二五八―三三―三一九七

当寺は北陸地方に移住し、室町時代の後期に新潟に移ってきました。長岡市大積町、宮内町と移り、江戸時代に渡里町に移って現在に至っています。現在の本堂は江戸時代の長岡の大火事、戊辰戦争、第二次世界大戦の長岡空襲によって全焼と再建の繰り返し、洋風な建物になりました。

当寺の門徒は、寺院のある渡里町には一軒だけで、どこかの地域には集中せず長岡市内に点在しています。そのため比較的近い地域で「班」(五名前後)を作り、一年交代で班長をお願いしています。春の彼岸会法要の際に「班長会」を開催し、決算・予算・行事計画・営繕関係等を話し合います。また、班長には維持費の徴収・寺報・報恩講の案内状の配布等をお願いしています。しかし、近年は高齢化、核家族化等により留守宅が多くなるなど、班長制を続けることが難しくなってきました。その他にも「他の寺院は振り込みしている。」「子供は忙しく迷惑をかけられない。」などの意見もあります。それでもここまで継続していただいたことは大変ありがたいことだと思っています。



私は「毎年お寺の行事に参加し続けることは難しいことだと思えますが、班長に当たった年だけは、報恩講(十月十六日)の日に『お寺』に行く日とメモをしていただけたら、多くのいろんな方々に本堂に参拝してもらいたいと思っています。」とお願いをしております。

教務所・別院からのお知らせ(会場記載がないものは新潟別院で行います)

### 二〇二四(令和六)年度 行事予定

- ▽本願寺新潟別院お取越報恩講法要  
日 時 六月二十五日 日中法要(二十七日 日中法要)
  - ▽新潟教区得度講習会・得度考査  
期 日 講習会 八月十九日・二十日 得度考査 八月二十二日
  - ▽本願寺新潟別院謝恩講法要  
日 時 十月二十三日 日中法要・二十四日 日中法要
  - ▽除夜会  
日 時 十二月三十一日 二十三時( )
  - ▽元旦会  
日 時 一月一日 七時( )
  - ▽常例法座  
日 時 四・六・七・十・十一・三月 十時三十分
- 
- お悔み** 生前のご功労を偲び、謹んでお悔やみ申しあげます。
- ▼十二月九日 巻 組 善了寺前任職 新田昇陽さん(八十二歳)
  - ▼一月四日 地藏堂組 勝敬寺前坊守 鈴木アサさん(八十五歳)
- 広報部会では教区報とホームページについての「意見・感想」を募集しています。「意見・感想」等ある方は新潟教区教務所へ電話やメール等に「ご連絡ください。よろしくお願ひします。」



# 法話 「名前」

本願寺派布教使 三条組長念寺衆徒 山之内 暢晃

令和六年三月になりました。今年は元旦から大きな地震に見舞われて、落ち着かない年明けとなりました。私の住んでいる三条市でも震度五強の強い揺れがあり、すごく怖い思いをしました。幸い大きな被害はありませんでした。しかし被災された方々のことを思うと胸が痛みます。被災された皆様が一日でも早く元の生活を取り戻すことを念じております。

さて、私ごとではありますが、もうすぐ二人目の子どもが生まれてきてくれる予定です。新たな命の誕生を楽しみにしておりますが、ただただ楽しきと言わねばならないかもしれません。贅沢な悩みかもしれませんが、子どもの名前をどのようになまえにするか頭を抱えています。一人目の子どもとつながりを持たせた方がいいのかなど、頭を抱えることが多く名前を決めることは大変です。子どもの名前は親からの最初のプレゼントであります。その子の一生を決めるものでありますから、たくさん悩んで願いのこもった素敵な名前にしたいと思っております。

名前と言いますと、私の仏様、阿弥陀様も南無阿弥陀仏のお名前となつて、そのお名前に願いを込めてこの私の元に届いてくださる仏様です。この南無阿弥陀仏というお名前にももちろん意味があります。南無とは、帰命という意味です。命という字は命令という意味もあり、帰命とは「仰せのままに従います」という意味であると親鸞様はお示しくださいました。阿弥陀仏という言葉には二つの意味があります。それは「計り知れない光」「計り知れない命」という意味であります。南無阿弥陀仏の仏様はどこにいても、どの時代に生まれても誰にでも届いてくださる仏様であります。さらに言えば、今ここにいます私に届いてくださっています。その計り知れない光と命の阿弥陀様のはたら

きに従いますというのが私の口から出てくださる南無阿弥陀仏のお言葉です。

阿弥陀様は南無阿弥陀仏のお名前に、仏様の願い、功德、はたらきを全て込めてこの私に届いてくださいます。親鸞様は、はたらきそのものがお名前であると私にお示しくださいました。南無阿弥陀仏の仏様のはたらきとはこの私の命が終わった際に、仏様の国に生まれさせ仏様にしてくださいることであります。全ての命を阿弥陀様の国に生まれさせることが南無阿弥陀仏のおはたらきであります。ですから、先立って行かれた皆様の大切な方々も南無阿弥陀仏の仏様に抱かれて必ず仏様となつてくださいます。大切な方とまた、お浄土という世界でお会いすることができるのです。このことが、ご利益の一つであります。

私は生まれたからには、必ず命終わって行かなければなりません。ですが、次に生まれていく世界は阿弥陀様のお浄土であります。それは、私だけでなく、お浄土に生まれるタイミングは違っても、生まれてくる子どもも一緒であります。

私も親から頂いた名前があります。その名前を大切にしながら、次に生まれる世界お浄土までの人生を生きていきたいと思っております。



## 本願寺新潟別院 謝恩講法要

期 日 二〇二三(令和五)年十月二十三日(月)・二十四日(火)  
会 場 本願寺新潟別院 本堂  
法話講師 二十三日 本願寺派布教使 三条組 長念寺 山之内 暢晃さん  
二十四日 本願寺派布教使 巻 組 妙光寺 井上 慶永さん

新潟別院謝恩講法要とは別院建立の際に犠牲になられた方の追悼と別院建立の際に尽力いただいたすべての方へ感謝するための法要です。本年も十月二十三日・二十四日に両日とも十時三十分から営まれました。

内藤教行輪番が導師のもと、教区内の僧侶に内陣出勤していただきました。また、新潟楽風会にもご出勤していただき雅楽演奏もある中、二十三日は阿弥陀経作法第二種、二十四日は正信念仏偈作法第二種がそれぞれお勤まりになりました。(写真上)

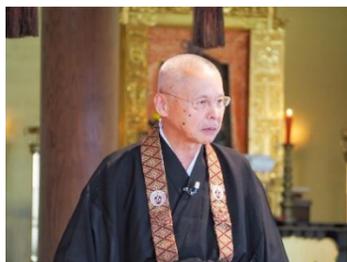
法話のご講師は二十三日に山之内暢晃さん、二十四日に井上慶永さんにお取次ぎいただきました。(写真真ん中・写真下)

法要終了後は、報恩講から再開したお齋を謝恩講でも再開しました。法要出勤者、新潟楽風会、参拝者の方々に御齋を振舞わせていただきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、新潟別院の恒例法要が従前通りに修行されました。これは、二〇一九年度以来で三年ぶりのことです。

これからも、先人たちの尽力によって護持発展してきた本願寺新潟別院の歴史を次の時代まで紡いでいけるよう多くのご協力をお願いいたします。



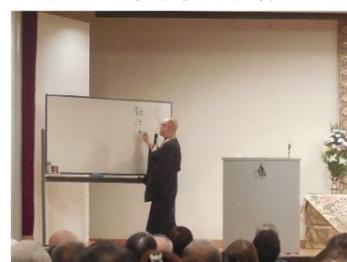
三条組 期日：2023年6月10日(土) 会場：三条組長念寺 法話：松月博宣さん  
アトラクション フルート演奏：岡部加奈さん サキソフォン演奏：片野蛍さん



新潟組 期日：2023年9月5日(火) 会場：新潟県民会館小ホール 法話：清水正朋さん  
記念行事 落語・講演：露の団姫さん 太神楽曲芸：豊来家大治朗さん



巻組 期日：2023年10月21日(土) 会場：サルナート吉運堂 記念布教講演：釈徹宗さん



## 各組の慶讃法要

三条組・新潟組・巻組で親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要が修行されました。今号では、各組の法要の様子を掲載いたします。